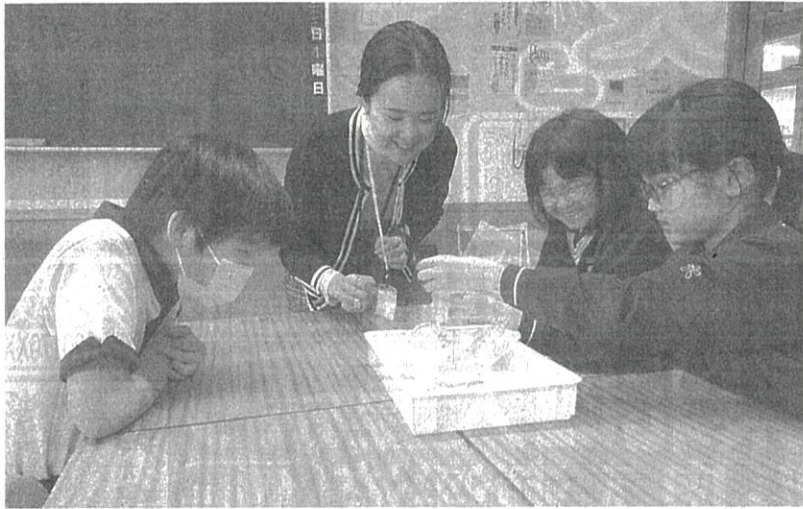


地域ニュース

生理学が特別授業



生理用ナプキンの吸水力を調べる児童たち＝奈良市

近大付属小 男女合同で実験

女性の生理や生理用品について小学4年の児童が男女合同で学ぶ特別授業が、奈良市あやめ池北の近畿大付属小学校で行われた。女性用下着などの開発や販売を手掛ける「タカギ」(橿原市曾我町)が協力。社員が教壇に立ち、生理用品の実験などを通じて正しい知識の普及に努めた。

従前の生理の授業は保健の教諭が女子だけを対象に行っていたが、令和3年度から同社の協力で男子と女子合同の形式で実施している。女子には初潮前の正しい知識の習得を促す一方、男子に知識を持ってもらうことで、安心して学校生活を送れる環境づくりを目指している。

4つのクラスで順次授業が行われ、松組では生徒23人がタカギの社員から生理

の仕組みや生理用品の役割などの説明を受け、生理用ナプキンが水をどのくらい吸収できるかを調べる実験を行った。

また、グループワークで「修学旅行中に衣類が汚れているのに気づいたときにどんな気持ちになるか」「友達の衣類の汚れに気づいたらどうするか」について話し合い、生徒からは「どついたらいいかと不安になる」といった考えや「腰になにか巻いてあげる」「みんなで囲んで隠す」といったアイデアがあった。

浜田実佑さん(9)は「女子には普通に起こることで、男子にも知ってもらえて安心できる」と話していた。また、担任の東村憲教諭(30)は「教諭では難しい踏み込んだ内容を教えてもらえたと思う」と話していた。